



Title	中高年女性の体形を活かしたファッションデザインの提案
Author(s)	清水, 冴
Citation	デザイン理論. 2020, 75, p. 84-85
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/75356
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

中高年女性の体形を活かしたファッションデザインの提案

清水 冴 滋賀県立大学大学院 博士前期課程

1. はじめに

近年の中高年女性は、ファッションに個人の価値観や生活意識を自由に表現しようとする意識が高い。一方で、中高年女性に向けてデザインされる衣服は、若年向けと変わらないデザインや、ゆとりが多いものなど、中高年女性の多様な体形を念頭に置いてデザインされているとは言い難い。これまでの中高年女性の体形に関する先行研究の多くは、人体計測による数値データを基に、現状を明らかにすることが目的とされてきた。しかし衣服デザインは、痩身や肥満というサイズ指標だけでなく、心理的指標やかたちの特徴を活かすことが重要である。こういった背景を基に本研究では、日常生活やファッションに対する心理的指標の調査結果から、中高年女性の体形特徴と心理的特徴の両面を活かした衣服デザインを提案した。

2. 研究方法

本研究は、①心理的特徴を明らかにする、②体形特徴を明らかにする、③それぞれの特徴を分析・整理し、その両面を活かしたデザインを検討する、という流れで行った。

まず、心理的特徴を明らかにするため、女性65名(40~77歳)を被験者としてアンケート調査を実施した。質問紙は、普段の生活意識やファッション観を明らかにするための34項目で構成されている。次に、体形特徴を明らかにするために、被検者の3次元人体計測(スペースビジョン製ボディアスキャナー)データを、ファッションデザイナーの観察により類型化した3つの代表体形群、ABCを

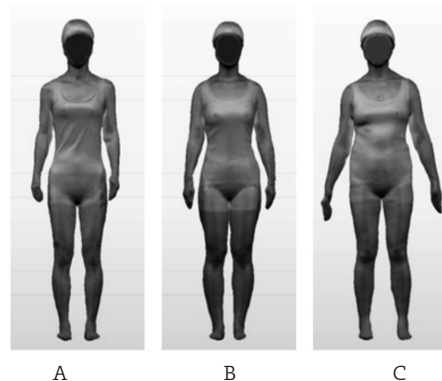


図1 3つの代表体形群の例
※森下・中村, デザイン学研究, vol65 (No3) 43~48

試料として用いた(図1)。

3. 提案

分析結果を基に、体形特徴と心理的特徴を整理し、3つの代表体形群別にデザインの特徴を検討した。1) 体形特徴, 2) 心理的特徴, 3) デザインの特徴として、以下に記載する。心理的特徴は、体形群別にSDプロフィールを作成し、特徴的項目を抽出して分析したものを基に決定した。

A グループ

- 1) 全体に凹凸が少なく平面的な体形群。
- 2) 若年向けと変わらないデザインに対する抵抗がある。年齢にとらわれない自分の体に合った服装をしたいと感じている。
- 3) 身体にフィットする部分があり、適度に露出したデザイン。明るく華やかな色合い・ハイウエストを避け、落ち着いたシックな色合いと高すぎないウエスト位置を意識するなど、自身の年齢に合った無理のないデザイン。

B グループ

- 1) 腰周りから大腿部に肉付きが多い体形群
- 2) 着心地の良さを重要視する。若い頃に着ていた服と、年齢と共に変化する自身の体形との違和感に悩んでいる。体形を隠すのではなく、丸みのある体形にも似合うデザインを求めている。
- 3) 腰周りから大腿部にかけての丸みを活かしたデザイン。形や素材による着心地が良く、動きやすいデザイン。

C グループ

- 1) 胸部から腹部に肉付きが見られるやや高齢の体形群
- 2) スキンケアへの関心が強い。体形をカバーすることを最重要視する。服自体が主役になるのではなく、生活の中に溶け込む自然なデザインを求める。
- 3) 色彩効果で肌や顔を明るく見せるデザイン。家具やファブリックに馴染む、華美でないシンプルなデザイン。肉付きが見られる体形をカバーできる素材とデザイン。

次に、デザインの特徴を基に各々の体形群に対するシルエット、細部の特徴を決定し、それらを土台として3種類のテキスタイル柄をテーマとしたデザインを作成した(図2-1, 図2-2, 図2-3)。

また、衣服だけでなくファブリックなどにも用



図2-2 「縞柄」によるデザイン



図2-3 「ボタニカル柄」によるデザイン

いられる北欧というテーマ、年齢を問わずテキスタイルの定番である縞柄、春夏の流行柄として幅広い年齢層に人気のあるボタニカル柄をテーマとして決定した。

4. 考察

3つの代表体形に対して、異なるテーマの衣服デザインを作成した結果、体形特徴に合わせた服種とシルエットの中で、個性あるテキスタイル柄のイメージの違いが表現できたと考える。今後の課題としては、体形特徴と心理的特徴との関係をさらに多くのデータから分析し、シニア女性の要望に応える衣服デザインの調査を進める。

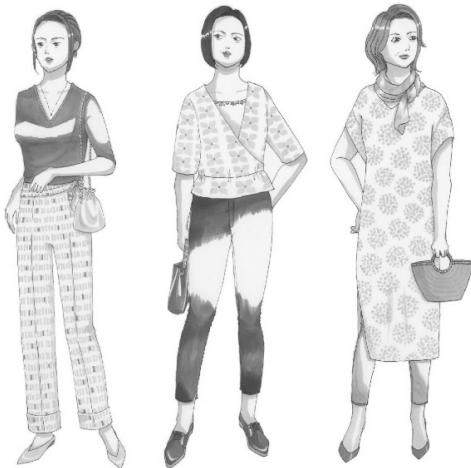


図2-1 「北欧」をイメージしたデザイン